

科目名	政治学	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群	
			法律学科	□ 必修 ■ 選択
			学科	□ 必修 □ 選択
英文表記	Politics	開講年次	□ 1年 ■ 2年 □ 3年 □ 4年	
		開講期間	■ 前期 □ 後期 □ 通年 □ 集中	
ふりがな	なかむら いつはる	実務家教員担当科目	修得単位	2単位
担当者名	中村 逸春	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用	
授業のテーマ	この授業では、政治学の基礎的な諸概念（政治、権力、官僚制、民主主義など）について学ぶとともに、政治に関する諸々の制度について学習します。			
到達目標	政治学の基礎的な概念について理解すること。また、政治に関する諸々の制度について把握すること。			
授業概要	現実の政治現象を理解するためには、政治学の基礎的な諸概念（政治、権力、官僚制、民主主義など）を知るとともに、政治をとりまく様々な制度について理解することが必要であるため、この授業ではこれらについて学びます。			
授業計画				
第1回	イントロダクション			
第2回	政治と権力			
第3回	国家の歴史—小さな政府から大きな政府へ、官僚制化			
第4回	執政制度—執政制度の種類、執政制度の比較			
第5回	行政組織—行政組織と法律、府省体制、組織編制			
第6回	公務員制度①—特質と種類			
第7回	公務員制度②—国家公務員制度、地方公務員制度			
第8回	レポートの作成—映像視聴を通じて			
第9回	地方自治①—中央地方関係、首長と議会			
第10回	地方自治②—組織			
第11回	政治改革①—行政組織の改革、公務員制度の改革			
第12回	政治改革②—地方分権改革			
第13回	国際政治—集団安全保障と集団的自衛権			
第14回	レポートの作成—文献読解を通じて			
第15回	近年の民主主義論			
第16回	定期試験			
授業時間外の学習	政治学を学ぶにあたっては、政治や行政に関する基本的な情報がある程度知っていることが求められるため、新聞などに日々目を通すようにすること。(2.0時間程度) また、次回の授業までに前回の授業の復習をしておくこと。(2.0時間程度)			
履修条件 受講のルール	講義中の私語は禁じます（退出を求める場合があります）。			
テキスト	教科書は特に指定しません。			
参考文献・資料	犬塚元・河野有理・森川輝一『政治学入門：歴史と思想から学ぶ』有斐閣、2023年；川出良枝・谷口将紀『政治学 第2版』（東京大学出版会、2022年）；伊藤正次・出雲明子・手塚洋輔『はじめての行政学』（有斐閣、2016年）。			
成績評価の方法	小テスト（30%）、レポート等（30%）、最終試験（40%）によって、授業内容の理解度をみて評価します。 ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。			

オフィスアワー	木曜・金曜 14:00～15:30 (これ以外の時間帯に面会を求める場合は、メール等で事前にアポイントメントをとること)
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び 実務を活かした 授業内容	
学生への メッセージ	政治学は、憲法や行政法と内容的に重なる部分も多いため、政治に関心がある人だけでなく、公法に興味がある人にもお勧めです。なお、政治学は公務員試験の科目にもなっています。